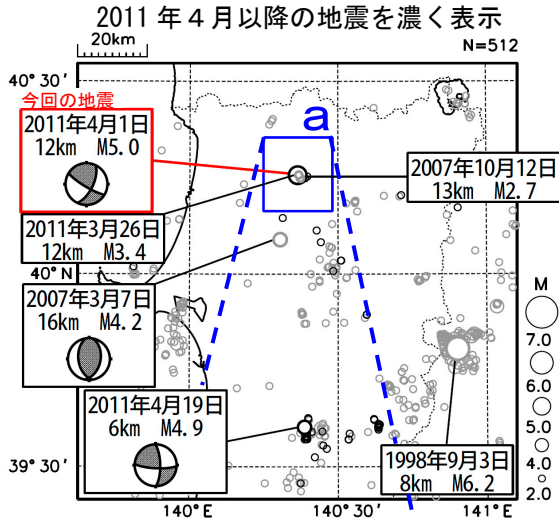
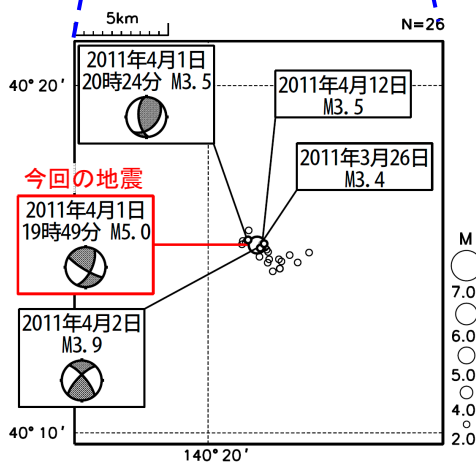


4月1日 秋田県内陸北部の地震

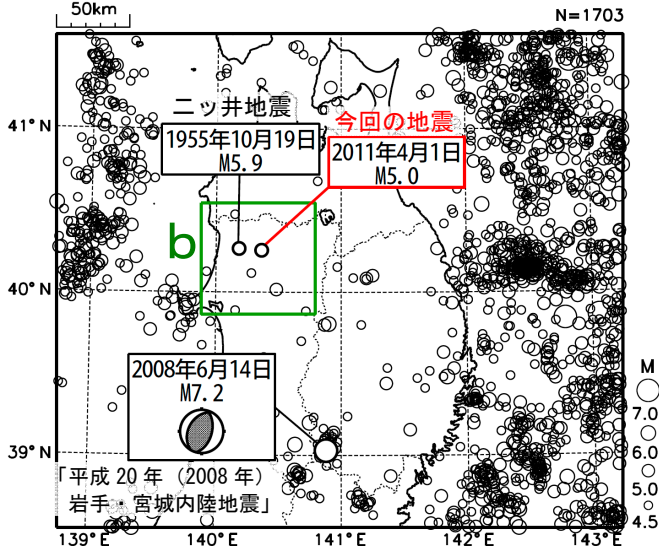
震央分布図 (1997年10月1日~2011年4月30日、
深さ0~60km、 $M \geq 2.0$)



領域 a 内の拡大図
(2011年3月1日~2011年4月30日)



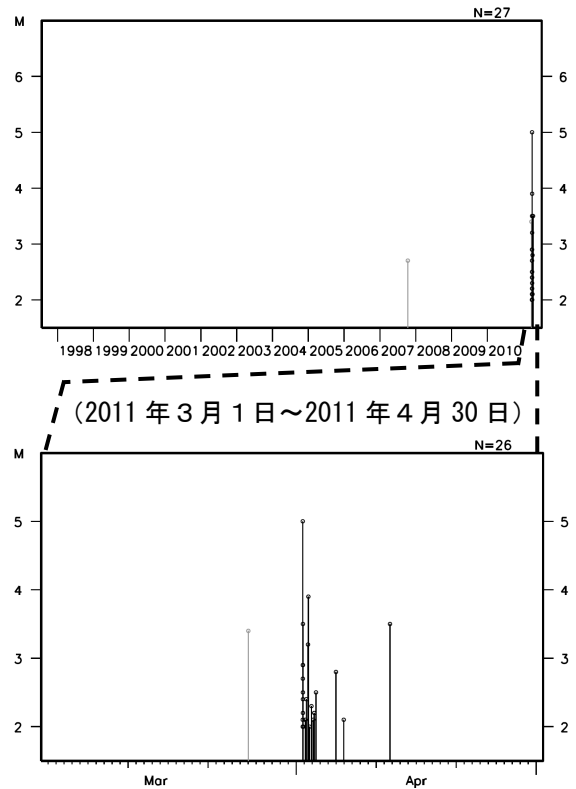
震央分布図 (1923年8月1日~2011年4月30日、
深さ0~60km、 $M \geq 4.5$)



2011年4月1日19時49分に秋田県内陸北部の深さ12kmでM5.0の地震(最大震度5強)が発生した。この地震の発震機構解は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。この地震のあと、震度1以上を観測する余震が4月12日までに5回発生したが、その後は発生していない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M2.0以上の地震はほとんど発生していなかった。

領域 a 内の地震活動経過図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)ではM5.0以上の地震が今回の地震も含めて3回発生している。このうち、1955年10月19日に発生した二ツ井地震(M5.9、最大震度3)では、負傷者4人などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の地震活動経過図

